

Brave Song

「Angel Beats!」のED

いつもひとりで歩いてた^{ある} 振り返るとみんなは遠く^{とお}
それでもあたしは歩いた^{ある} それが強さ^{つよ}だった
もう何も恐くない^{なに こわ} そう呟いてみせる^{つぶや}
いつか人は一人^{ひと ひとり}になって 思い出の中に生きてくだけ^{おも で なか い}
孤独^{こどく}さえ愛^{あい}し笑^{わら}ってられるように あたしは戦^{たたか}うんだ
涙^{なみだ}なんて見せないんだ^み

いつもひとりで歩いてた^{ある} 行く先^{い さき}には崖^{がけ}が待ってた^ま
それでもあたしは歩いた^{ある} 強さ^{つよ}の証明^{しょうめい}のため
吹き付ける強^{つよ}い風^{かぜ} 汗^{あせ}でシャツが張りつく^は
いつか忘れてしまえるなら 生きることそれはたやすいもの^{わす}
忘却^{ぼうきやく}の彼方^{かなた}へと落^おちていくなら それは逃^にげることだろう
生きた意味^いすら消^いえるだろう^き

風^{かぜ}はやがて凪^ないでた 汗^{あせ}も乾^{かわ}いて
お腹^{なか}が空^あいてきたな 何か^{なに}あったっけ
賑^{にぎ}やかな声^{こえ}と共^{とも}にいい匂^{にお}いがやってきた

いつもひとりで歩いてた^{ある} みんなが待^まっていた

いつか人は一人^{ひと ひとり}になって 思い出の中に生きてくだけ^{おも で なか い}
それでもいい 安^{やす}らかなこの気持^きちは それを仲間^{なかま}と呼^よぶんだ
いつかみんなと過^すごした日々^{ひ び}も忘れてどこか^{わす}で生^いきてるよ
その時^{とき}はもう強^{つよ}くなんかないよ
普通^{ふつう}の女^{おんな}の子^この弱^{よわ}さで涙^{なみだ}を零^{こぼ}すよ